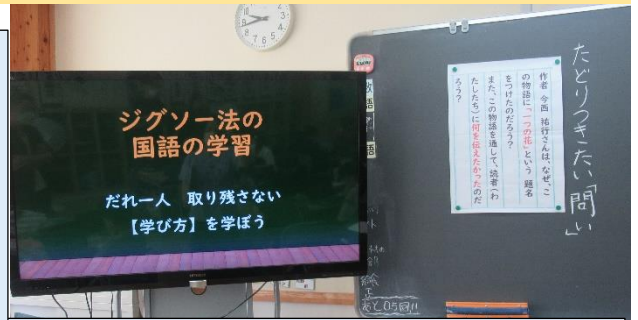


栄小研究部通信

提案授業:国語科【4年1組 増子先生】～振り返り～

1 授業参観シートより先生たちの声「1. 評価基準の設定について」

- ・評価規準が本時の目標を踏まえたものであり、さらに具体的な子どもの姿で書かれていたため、評価しやすかった。
- ・ジグソー法には、①エキスパート②ジグソー③クロストークの3段階で思・判・表する場面がありそのレベルも1つずつ上がり、子どもの表現力がそれに伴いあがっていく様子を実際に見ることができた。



- ・「自分なりの考え」ということで、グループでの交流が効果的だと感じました。
- ・クラゲチャートを使い他の人の考えを見て「私はこれだな」と選ぶことで1人1人自分の考えを書くことができていた。
- ・これまでの学習で気持ちの変化を読み取れているからこそ、感想や考えをもつことができていた。

2 授業参観シートより「2. 思考力・判断力・表現力を育むICTの活用について」

- ・「なぜ一つの花という題名なのに最後の場面は、いっぱいの花が咲いている場面にしたのか」という具体的な問いかけにより課題意識が高まり、さらにジャムボードで友達の考えをリアルタイムで参考にすることができていたことがよかった。
- ・各段落の読み取り、自分の考えがはっきりしているの、1人1人がより深い考えを出し合っていた。



- ・思考ツールを活用した考えの交流・統合を見せていただいた中で、「ノート+交流」「タブレット+交流」の違いについて考えさせられた。
- ・先生方の事後研のように付箋に打ち込みながらも交流を進めていく手法も交流方法の新たな位置づけとして価値づけていく必要性を感じました。
- ・クラゲチャートといった思考ツールを使い、情報を整理することで、よりよい学びとなっていた。



3 授業参観シートより「3. 振り返りでアウトプットする方法の工夫について」

・「③の学び方で取り組んだけど難しかったので、次は①の学び方で取り組みたい」というように、次なる学習意欲が高まっていたことがよかった。

・①～④の中から自分で選び授業を受けることで、目的意識をもって授業を受けることができた。また、「今日は～だけど次は～」と言う声掛けをすることで、次の授業ではこうするという意欲が高められていて勉強になった。

・グループで答えを1つにまとめることの難しさ、司会の子ども力量や他の子の協力が必要なため、回数を重



・今日の自分の学び方を書く時間がよかった。時間の確保や継続が大切だと感じた。

・増子先生が示した4つの学び方を、文をコンパクトにし、イラストも入れて、学習規律の7ルール+学び方の4ルール?のように栄のスタイルにするのもいいのではと思いました。

・「わかったこと」「難しかったこと」など自分の学びを素直に振り返えられる声掛けをされていて、子どもたちもしっかり自分が何を学んだのか考えることができていた。

・次の時間に向かって「さらに学びたい」という気持ちが子どもたちから感じられた。



4 授業参観シートより先生たちの声「4. その他」

・ノート指導で1人1人にコメントがあり、学習意欲の向上につながると感じた。

・発問、指示、教材の提示の工夫などの大切さを感じた。

・子ども同士の学び、そして子どもたちの言葉から授業をつくれるように、今後も私自身が学ばなければと感じた。

・エキスパート1～3の問いを考えるという過程で学び方も学習することができていた。この授業を次の単元でも継続することで本物の力になっていくと思う。

・グループで話し合う際に Jamboard で付箋を使うのがとても効果的だった。

・国語の力が低い子どもも付箋に考えを書いており本時の学習課題に到達していた。

・先輩教師の本気の授業を見せていただいて、改めて授業への熱い思いや入念な準備の必要性、授業で子どもが変わるということを実感しました。

・熱い思いと情熱を感じました。「教師は授業で勝負」が身に沁みました。

・ジグソー法は低学年でもできるのか気になりました。

・学力の3つの要素のうちの「学びに向かう力」を高めるためのモデル授業だった。

・【学び方】を学ぶという授業を観ることができ大変勉強になりました。